

1 世界遺産 花の窟



世界遺産 花の窟は、720年(奈良時代)に記された『日本書紀』の神代一書(あるふみ)で「国産みの舞台」として登場する日本最古の神社です。社殿はなく、高さ45mの窟をそのまま御神体としており、熊野三山や伊勢神宮成立以前の太古の自然崇拜の遺風を漂わせています。

2 口有馬道標




花の窟の入り口に立つ道標は、巡礼や旅人に、安全な道はここから右に折れて有馬村本街道に廻るよう警告をしたものです。この石には、「右 くまのさん巡礼道」と示されています。

3 口有馬龍宮塔



熊野年代記によると、安政6(1859)年己未8月に井戸川河口にて「湊切り」の作業中、折から打ち寄せる高波で9人が流死しました。海の神・竜宮神の怒りを鎮め、以後再びこのような災難がないようにと願い、この竜宮塔が建立されました。

4 浅間(せんげん)の森



この森は今から240年余り前(1753年)有馬住民の岩本平次郎という人が、富士山に登り浅間神社の分霊を受け「浅間神社」として祀られたと言われています。その後、産田神社に合祀されましたが、小学校の中に残り、今も子どもたちの学習の場、憩いの場となっています。

5 道の駅 熊野・花の窟「お綱茶屋」



世界遺産 花の窟の前に平成24年4月にオープンした花の窟活性化施設。年中無休、10:00~17:00(季節により終了時間の変更あり)地域特産品である古代から栽培されている古代米を使用しうどんやおにぎりが人気。花の窟にまつわる資料を展示し、歴史・由来を伝えます。

6 産田神社



産田神社は、伊弉冉尊(イザナミノミコト)が火の神・軻遇突智命(カグツチノミコト)をこの地で産んだことに由来して「産田」の名がついたと言われています。太古から安産と子育てを祈願した祭礼が1月10日に執り行われています。

7 神籬(ひもろぎ)




太古、社殿のなかった時代に、神の宿る場所として大きな丸石を5個並べた「ひもろぎの跡」が2ヶ所現存しています。この神聖な場所の落ち葉を箒を使わず手で拾い取るよう、代々言い伝えられています。

8 安楽寺




有馬氏によって建てられた産田神社の別当寺として、西暦1444年に創設されたこの地方の重要な寺院です。永禄12年(1569)に戦いで焼失しましたが、その後再建されました。現在も殿様寺として、当時の殿様の墓も祀られています。

9 津ノ森遺跡



この地方では最大の遺跡です。今は田畑や人家がありますが、遺跡の範囲は南北250m、東西500mにわたっています。最近では、1974年と1980年に発掘が行われました。弥生式の土器がほぼ完全な状態で見つかったこともあったそうです。

10 熊野市歴史民俗資料館



館内には、古代の出土品や歴史と暮らしの変遷を語る数々の民俗資料を展示しています。開館時間：午前9時~午後4時 休館日：月曜日・木曜日(ただし祝日の場合はその翌日) 12月28日から1月4日 入館料：無料

11 親知らず子知らず



志原川は海が荒れたとき、河口を渡る際、多くの巡礼や旅人が波にさらわれて命を落としたと言われています。今も志原川河口の松林の中には、江戸時代の巡礼供養碑が残されており、往事の悲しみを伝えています。

12 水門・秋葉神社



幕藩時代、志原川の湊口には木花の開耶姫(このはなさくやひめ)を祀る氏神様があり、安産の神として祀られていました。そこにもう一つの願いである土用波の塩害から稲を守って欲しいと「水門(みなと)神社」となり、その後火事から守られるようにと秋葉大明神を祀りました。

13 龍神燈




かつて志原川の河口から押し入る波で、塩害が起こりました。土用の高波が来ると、実ってきた稲が被害にあって、年貢を納めることができなくなりました。波鎮めの願いを込めて建てられたのが、この龍神燈です。

14 まないたさま



「天の真名井戸」マナイタサマとよばれ婦人病に靈験ありとされています。古くここに水神が祭られていた為に、この信仰が生まれたといわれています。産田川の支流にたたずむ磐座(いわくら)が、ご神体です。太古の祭祀の場としての雰囲気を感じていただけます。

15 丁塚の一里塚跡



国道42号を挟んだ両側、南北に各1つあったと伝えられるが、現在は南側のみです。塚の高さは1m15cm、周囲は27m、塚の上にはタブノキ2本とカゴノキ1本の巨木が自生しています。かつてはこの木陰で旅人が疲れを癒したことでしょう。

16 山崎運動公園



野球場、テニスコート、多目的グラウンド、健康増進ハウス、ちびっ子広場、ちびっ子木造ふれあい施設など整備された熊野市でもっとも大きな複合施設です。その周りには有馬地区地域まちづくり協議会が植えた河津桜が2月中頃より咲き誇り、有馬町内一番の桜の名所となっています。



道の駅 熊野・花の窟を起点に

産田神社	約1.5km
熊野市歴史民俗資料館	約0.6km
立石の道標	約1.1km
山崎運動公園	約2.5km
水門・秋葉神社	約5.0km
まないたさま	約5.5km

施設案内

- 駐車場
- トイレ
- ATM
- バス停
- 津波避難タワー
- 津波避難場所 (H28.2.28現在)



三重県熊野市

有馬

町内マップ

Mie Kumano Arima-cho map

有馬地区地域まちづくり協議会

1 花の窟～産田神社

日本書紀(奈良時代に成立した日本の歴史書)に、伊弉冉尊、火神を生む時に、灼かれて神退去りましぬ。故、紀伊国の熊野の有馬村に葬りまつる。と書かれており、「有馬」という地名はその時より登場します。その歴史の古さからも、この地域は特別な地であったことが伺えます。世界遺産となった「花の窟」をはじめ、その目の前には同じく世界遺産の「浜街道(七里御浜)」が、20数キロに渡って続き、熊野灘の美しい海が広がります。古き歴史の残る有馬の地をどうぞゆくりと楽しんでみてください。

2月2日、10月2日におこなわれる花の窟「お綱かけ神事」

獅子岩

1 花の窟

清水川 お地藏さん

5 道の駅熊野・花の窟「お綱茶屋」

慰霊碑

ATM

口有馬城址(海岸寺)

8 安楽寺

ひまわり 日初様

6 産田神社

農産物直売所 JAほほえみかん 消防署

ATM

熊野市歴史民俗資料館

10 熊野市歴史民俗資料館

有馬中学校

市営体育館

JRありい駅

有馬小学校

有馬警察官駐在所

浅間の森

4 浅間の森

防風林

鈴木孫市の供養塔

鈴木孫市の供養塔

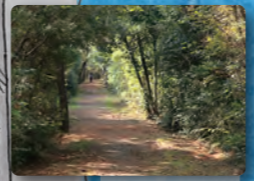
立石の道標

立石の道標

311

産田川

志原尻まで続く防風林の中の遊歩道



2 志原尻

12 水門・秋葉神社

水門・秋葉神社の片隅に祀られた庚申様

庚申様

志原川(産田川)

防潮水門

13 龍神塔

七里御浜海岸

防風林の中の遊歩道

11 親知らず子知らず

JR志原尻駅

11 親知らず子知らず



3 池川 まないたさま

井戸町

庚申様

石畳の階段

民家

大岩

14 まないたさま

池川薬師堂跡

池川薬師堂跡

道標

左あかくら 右薬師道

産田川

産田神社へ

14 まないたさま

まないたさま御神体

防火水槽の小屋

自動車を駐車できるスペース

産田神社へ

